

資産運用提案仕様書

本仕様書は、当公社が保有する資金の運用にあたり、資産管理規程に基づき、安全かつ効率的な運用を行うための最適な運用商品および管理体制に関する提案を外部の金融機関（証券会社・銀行等）に要求するものです。

1 背景および目的

当公社は、資産管理規程に基づき、資産の適正かつ効率的な運用に資することを目的としています。昨今の金融環境および国債金利等の市場環境を勘案し、保有する資産のうち、規程に定められた枠組みの範囲内で、安全性・確実性を最優先に担保しつつ、国債金利水準を上回る中長期的な安定収益（インカムゲイン）を確保するため、専門的知見を有する金融機関からの具体的な運用提案を募集いたします。

2 運用対象資金および提案の概要

本提案要求における運用の前提条件および提案ルールは以下のとおりです。

項 目	仕様・条件
運用資金額	1 億円
希望運用期間	1 5 年以内
目標クーポン（利回り）	年率 2. 5 %以上（税引前・コスト控除後）
元本安全性および通貨	満期償還時、原則、日本円（円建て）で 1 0 0 %償還（元本保証・元本確定型）となること ※仕組債の場合、特定の免責事由（クレジットイベント等）が発生しない限り、満期時に円建て元本が 1 0 0 %償還される構造であること。
運用原則	満期保有を原則とする
提案数の制限	1 社につき 1 プランのみ ※迅速な意思決定を行うため、貴社が推奨する 1 案に絞ってご提案ください。
資料作成の方針	専門用語を排した、平易かつ明快な解説・資料構成 ※運用の専門家ではない内部役員および担当者が審議・判断を行うため、専門知識がなくともリスクとリターンが理解できる内容としてください。

3 資産管理規程に基づく厳格な制約条件（必須要件）

ご提案いただく内容は、当公社の「資産管理規程」を遵守している必要があります。特に以下の項目を満たさない提案は選定対象外となります。

（１）運用対象資産の範囲

畜産振興資産からの抛出となるため、以下から提案を行ってください。

- ア 預金・貯金（仕組預金（定期預金型）を含む）
- イ 国債、地方債、政府保証債
- ウ 社債、外国債券、優先出資証券
- エ 仕組債（クレジットリンク債、パワーリバースデュアル債等）

（２）格付けおよび元本確定・リスク要件

運用の安全性を担保するため、以下の格付け・元本基準を厳守してください。

- ア 債券（一般社債、外国債券等）

指定格付機関のうち、いずれかの格付機関による発行体格付（長期）がA格以上（債務履行の確実性は高い）であり、かつ満期償還時の元本が確定しているものに限りします。

- イ 仕組債（デリバティブ内包型債券）

①クレジットリンク債

参照組織（破綻リスクを負う企業や機関）は、指定格付機関による発行体格付（長期）がA格以上の極めて信用力の高い法人・政府系機関等であること。

②パワーリバースデュアル債等

為替変動による「利息（クーポン）の変動リスク」を許容する枠組みとしますが、満期償還時には日本円（円建て）ベースで元本が100%償還（円貨元本保証）されるタイプに限定し、外貨で償還されるものや満期時に元本割れが生じる可能性のある商品は除外します。

- ウ 仕組預金（定期預金型）

対象金融機関（預入先銀行）の発行体格付（長期）がBBB又はそれと同等以上、あるいは従来からの取引金融機関であること。また、特約（早期中途償還特約等）が付されている場合であっても、満期償還時（銀行判断による早期償還時を含む）に日本円（円建て）で元本が100%保証（元本確保型）されるタイプに限りします。

4 提案要求事項（回答要領）

ご提出いただく「1つの推奨プラン」には、以下の要素を含めてください。なお、専門外の役員等への説明資料となることを前提に、視覚的に理解しやすい構成にしてください。

（１）推奨商品の具体的内容

- ア 目標クーポン（2.5%以上）を15年以内の期間で、日本円100%元本保証の条件下で安定的に達成するための具体的な商品構造（スキーム）。
- イ 具体的な推奨銘柄・仕組債・仕組預金の名称、格付け、償還（満期）期日、当初想定クーポンレート。
- ウ クレジットリンク債を提案に含む場合は、その参照企業の概要と選定理由・安全性の解説。
- エ 利息（クーポン）に為替連動性がある場合、円高・円安の進行によって受け取る利息が具体的にどのように変動（増減）するかの分かりやすい解説。

（２）仕組債・仕組預金特有のリスクおよび「最悪のシナリオ」の徹底明示

- オ 運用の専門家ではない役員会での判断基準とするため、以下のリスクについて、専門用語（ノックイン、クレジットイベント、コール特約、フラット化等）を一般的な言葉に置き換え、「最悪の場合、どうなるか」を金額・数値で明記してください。
- カ 元本毀損リスクの条件（クレジットリンク債等）
どのような事象（参照企業の法的倒産など）が発生した場合に、元本がいくらに毀損するのか。その発生確率はマクロ経済的にどのように評価されているか。
- キ 利息減少・消滅リスクの条件（パワーリバース等）
為替や金利がどのような水準になった場合に利息が減少・消滅（0%化）するのか。為替・金利連動のシミュレーション表（ワースト、ベース、ベストケースそれぞれの年利）を提示すること。
- ク 期限延長リスクの条件（仕組預金・コール特約付債券等）
金融機関側の判断によって償還期限が繰り上がる（または最長まで延長される）条件と、それが公社の資金計画（15年以内運用）に与える影響の解説。

（３）アフターフォローおよび報告体制

理事会等への運用状況報告に対応するための、定期報告書のサンプル。

5 選定基準およびスケジュール

提案の選定にあたっては、以下の基準に基づき、資産運用委員会及び資産運用検討会にて総合的に評価・判断いたします。

評価項目	評価の着眼点
規程遵守性・確実性	債券・仕組債の発行体、参照組織の格付がA格以上、仕組預金の預入先銀行の格付がBBB以上（または従来取引）を満たしているか。 満期時の日本円での元本確保の仕組みなど、当公社の要求を完全にクリアしているか。
提案の明快性（リスクの可視化）	仕組債や仕組預金の複雑なリスク構造や「最悪のシナリオ」が、専門外の役員・担当者でも容易に理解できるよう平易に図解されているか。
運用の妥当性	15年以内という期間内で、目標クーポン（2.5%以上）が安定的に見込めるか。 リスクに対するリターン（効率性）が見合っているか。

【提出期限および今後のプロセス】

提案書提出期限 2026年8月4日（火曜日）必着

選定方法 資産運用委員会及び資産運用検討会での書類審査を経て決定